

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

| 実施自治体名 | 課題の類型1    | 課題の類型2          | 課題の詳細  | 左記課題の解決のために本事業で取り組むこと   | 本事業で達成する目標(アウトカム)          | 目標の達成度を測る指標                      | 現状の数値 | 単位 | 本年度の目標値 | 本年度の実績値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)  |
|--------|-----------|-----------------|--|---|----------------------------|----------------------------------|-------|----|---------|---------|---|
| 白石市    | ③学校と家庭の課題 | 読書習慣の定着・読書体験の充実 | 「第四次白石市子ども読書活動推進計画」策定に伴い、令和3年9月に児童生徒の読書への取組についてアンケート調査を行った。その結果、「学校の授業以外の読書時間」について、「まったく本を読まなかった」と回答した児童生徒が2割おり、読書習慣が定着していない状況であることが分かった。学校の授業以外で児童生徒の主体的な読書習慣づくりが学校・家庭の共通の課題となっている。 | 児童生徒自身が読書の楽しさや、大切さを知るきっかけを作ることができるよう、家庭、地域、学校および図書館などにおいて、「本にふれ」、「読書に親しむ」機会をより多く提供し、自主的に読書活動が行えるよう読書環境の充実を図る。また、図書館読み聞かせボランティアの育成やICTの活用などにより、読書環境の整備充実を図る。 | 学校以外で日常的に、読書活動を行う児童生徒が増える。 | 「学校の授業以外で読書をまったくしない」と回答する児童生徒の割合 | 20    | %  | 20      | 20      | 3<br>読み聞かせボランティアによる出前読み聞かせ会が定着し、子どもたちが本に触れる機会が増え、読書の楽しさや大切さを知るきっかけを作ることができた。引き続き、子どもたちが自主的に読書活動が行えるよう読書環境の充実を図るとともに、読み聞かせボランティアの育成や読書環境の整備充実を図っていきたい。 |